

よって下田から報告(山岸, 1959)されたものとよく一致するが, 造精器の側突起は Hoppaugh の原記載(5—12 個)の様に多いものはみられず, 3—5 個が普通であった。この種は原記載地(Hoppaugh, 1930; Taylor, 1952), 及び日本で知られている下田(山岸, 1959), 及び博多(瀬川・太田, 1951)ともに海水域から採集されているが, 今回の材料は塩田跡の沼から採集されたもので, その沼から同時に採集されている他の藻類の種類から推定すると, この沼はおそらく汽水であつたらうと思はれる。

御指導を頂いた東京教育大学印東弘文教授および伊藤洋教授に対し, 又現地でご世話になった兵庫県三原郡南淡町榎賀正臣氏に感謝する。

Résumé

Seven forms of *Vaucheria* collected from Awaji island were reported. In *V. geminata*, variability of both length of fruiting branch and number of oogonia per fruiting branch arranged on the same filament were examined. Also, in this species the proliferation of reproductive organ was observed. Although *V. longicaulis* had hitherto been reported only from the marine habitats, it was here collected in a small marsh situated near the seaboard. Other algae accompanied with this species suggested that probably the marsh was of blakish water.

引用文献

- Hoppaugh, K.: Amer. Journ. Bot. **17**: 332 (1930). League, E.A. & V.A. Greulach: Bot. Gaz. **117**: 45 (1955). Prescott, G.W.: Trans. Amer. Micros. Soc. **57**: 4 (1938). 瀬川・太田: Sci. Bull. Fac. Agr. Khushu Univ. **13**: 282 (1951). Taylor, W.R.: Madrono **11**: 274 (1952). 山岸高旺: Journ. Jap. Bot. **34**: 73 (1959): ibid. **37**: 219 (1962).

□Burbidge, N. T. **Dictionary of Australian Plant Genera** pp. 345 Angus Rebertson, Sydney (1963) 濠州のフロラは存外早くから出たが, (Bentham, G & Muelles. F. *Flora Australiensis* **1-7** (1863-1878) もう 100 年近く経ってひどく古くなった。しかし急に新訂されたものも出る見込みがないので, 属だけでも新しくしたいという意図で出されたもの, 裸子, 被子の新旧すべて関係あるものは自生はもちろん帰化や普通の栽培までこめて属名をひろい ABC に排列し, 各々に出典の外に分布や種類数や必要な事項を添えてある。著者が 1960 年にのべた濠州のフロラ区分(北部の熱帯区, 南部の温帯区及び中央砂漠地の Eremean Zone) や第一と第二との重なり合った東海部の Mac Pherson-Macleay Overlap などの外にさらに地方区にわけた地図があり, それに沿って分布が評記されている。値段は 105 シリングで頁数の割には高いが価値は充分である。(前川文夫)